

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	癌幹細胞を標的とする腫瘍根絶技術の新構築
領域代表者	赤司 浩一（九州大学・医学研究院・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>がん幹細胞に関する研究は昨今国際的に見ても非常に重要度を増している。その中で、本研究領域は基礎・臨床の幹細胞領域研究者の視点と技術を統合して、各腫瘍領域における癌幹細胞を同定、分離、さらに人工的に作成し、癌幹細胞固有の性質と治療抵抗性に繋がる癌幹細胞ニッチの役割を明らかにすることを目指している。本研究領域の目標は明確であり、当該研究領域にマッチした、日本におけるトップレベルの研究者によって構成され、非常によく練られた戦略的な研究計画を提案しており高く評価できる。多くの癌で、特に固形癌で癌幹細胞は同定されておらず、癌幹細胞と組織幹細胞の違いの分子的基盤、癌ニッチとは何か、創薬、臨床応用に向けた評価系の確立など、解決すべき課題に向かって領域代表者の優れたリーダーシップのもとで研究が遂行されれば、癌幹細胞研究からその治療戦略にいたる新たな学術領域の形成が期待できる。</p>